

ウォーキング

田園風景の中を散策

令和6年6月8日（土）

1. ルート 三岐鉄道保々駅～朝明高校前～新明藩高速道路沿いに田園風景の中～海蔵川上流の橋～鶴川原神社前～菰野役場前公園～近鉄菰野駅
12km (15,000歩)
2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・中村 衛・中村軍志・福本 泉・伝田 貢・喜吉 雄
7名
3. ドキュメント



近鉄富田駅三岐鉄道西藤原行電車で保々駅9時41分到着。この路線は昔ながらの切符を手渡しして改札口を出て皆で記念写真を撮影した。コースの見どころは田園風景と最近開通した新名神道路沿いを歩き、遠くに見える鈴鹿連峰を眺めるとのことで元気よく出発した。遠くに鎌ヶ岳、御在所岳がはっきり見える快晴の中を歩き始めると近くの田んぼでは麦を収穫するコンバインが見え、田んぼの端に鎧塚を見つけ、立て札に鎧塚古墳（中野町字北浦）と古墳時代後期のものと考えられると書かれていた。





約五キロ歩いたところ、麦を刈り取り終えた畑沿いで遠くに鎌ヶ岳を見てシャッターを押した。右端に新名神の橋脚が見え、左側遠くに湯の山街道新道が見えた。

昼過ぎに菰野町役場の公園に到着、木陰で昼食を取りながらいろいろな昔話をした。おおらかな時代だった。

鈴鹿山脈の山の名は、向かって右側（北側）から藤原岳、竜ヶ岳、釈迦が岳、国見岳、御在所岳、鎌ヶ岳、雨乞岳、入道ヶ岳、かな？

昼食後菰野駅に向かって歩き出し、三滝川を渡った。川の名前の由来が看板に書かれていた。二つの説があり、一つは湯の山の3つの滝（北谷にあり落差15メートル名瀑布：青滝、落差30メートル細長い滝：百間滝、潜り門（くぐりと）滝）から名付けられた。もう一つは、御在所岳、鎌ヶ岳、国見岳の三つのお山すなわち【御岳】から流れ出る川であることから名付けられた。

近鉄菰野駅に午後2時ころ到着し、今日のウォーキングが終了した。

報告者 喜吉 雄